

有限責任中間法人日本漢方交流会ニュース 金匱 No.26

編集 日本漢方交流会広報委員会
発行 日本漢方交流会事務局 香川県仲多度郡琴平町225 TEL 0877-58-8581 FAX 0877-58-8583
日本漢方交流会ホームページ <http://www.kanpou.com/>

第 36 回・日本漢方交流会神戸大会の報告とお礼



日本漢方交流会神戸大会事務局
中 井 康 雄
村 上 清 尚

晩秋から初冬への気配が感じられる今月 23～24 日、第 36 回日本漢方交流会全国学術総会神戸大会は好天に恵まれ、小規模ながらも盛況のうちに終わりました。賛助漢方研究会事務局の皆様には参加

者の動員にお力ぞえをいただき、また大会当日は特に中堅理事の先生方に、ひとかたならぬお世話になり、円滑な運営が出来ましたことを、心から嬉しく喜んでおります。

本当にありがとうございました。

日本漢方交流会は私たちの唯一の組織であるとの意識のもとに、役員が一致団結すれば大会の運営ができることの姿を示したものと思っております。“ヤル気でやれば出来る”を自覚した次第です。また、大会終了直前でも席を立つ者が殆どなく、参加者は満足しておられるのだな—とも思い、今年早々から本大会に意気込みをかけてきた者として嬉しく思っております。

これから是一日一日と寒さも加わりますが、貴研究会の益々のご発展を祈念しております。簡単にて失礼ですが、取り急ぎお知らせとお礼を申し上げます。

最後にもう一度申し上げます。どうもありがとうございました。



第 36 回日本漢方交流会全国学術総会神戸大会参加者一覧

東京漢方教育研究センター	11 名	徳島漢方研究会	1 名	会員合計	141 名
東海漢方協議会	19 名	広島漢方研究会	16 名	非会員	32 名
日中医薬研究会関東支部	23 名	山口漢方研究会	1 名	合計①	173 名
日中医薬研究会関西支部	18 名	九州漢方研究会	8 名	招待特別講師	5 名
京都漢方研究会	16 名	熊本漢方研究会	2 名	企業協力者	35 名
岐阜漢方研究会	1 名	個人会員	22 名	マスコミ記者	2 名
近畿鍼灸漢方研究会	3 名			合計②	42 名
				総合計① + ②	215 名

法人化後第 2 期を迎えて

理事長 真 鍋 立 夫

漢方交流会もやっと法人化することが出来たと思う間も無く、第 2 期を迎えました。

先日は法人化後第 1 回、通算第 36 回目の全国学術総会が神戸市で中井康雄理事の粉骨碎身の働きで無事盛会裡に終了することが出来ました。

中井先生を始め『旧かんぽう会』の面々、藤田彰久先生、村上清尚先生、他関係者多数の先生方のご苦勞に感謝申し上げます。

この度の経験は、全国大会であっても本当に 3～4 人の熱心な先生がいればなんとかプロモート出来るんだという実験的実績にもなりました。

来年は京都漢方研究会、その次の学術大会開催担当は広島漢方研究会、その後は九州漢方研究会などなど、と希望的予測は致しておりますが、交流会組織の構造上からは基本的には、このように全国学術大会の開催を賛助研究会に頼らなければならないというのは変則的であり、あまり感心出来ることではありませんが、会の運営の責任を任せられている者としては、まことに感謝にたえないことであります。

またこの度の『神戸大会』は本当に魅力的な学会でありました。熱気に溢れると言うわけではありませんが、大会の終了時点迄ほとんどの者が席を立たないという、生き生きとした充実した雰囲気のある良い学会でした。これも大会実行責任者の中井先生の人徳のたまものでしょうか。

それから、この度は法人化後初回の役員選挙がありました。初代の役員は法人設立発起人が役員となった設立役員ですから、この度の役員が始めて正式に新し

く立候補されて、会員より選任された役員となるわけです。

立候補して頂いた人数も、思いがけずもバランスのとれた適切な人数の方々に立候補して頂き、無事総会にて選挙管理委員会の報告によって承認されました。

また、新しく選任された理事の会務分掌も滞り無く終り、再び不肖私を理事長として、太田 順康先生を副理事長とし、会計理事は蓑輪明美先生、学術部長は庄子 昇先生、総務部長は石原タツ先生、企画部長は中川智代先生、広報部長は吉本 悟先生、組織部長は金子吉一先生、組織向上委員会担当は太田先生兼任、また監事は中井康雄先生、宮崎綾子先生、という体制が出来上がりました。

企画部はすでに今期の『難病・慢性病フォーラム』の実施に向けて行動を起こされています。アトピー性皮膚炎をテーマとして、京都漢方研究会の会長であられ、また本会の顧問として新しく就任頂いた、細野八郎先生の特別講演などの内諾も頂いております。

また、話では金沢の方に新しく本会の賛助漢方研究会が発足するようです。一方で私自身も大学の先輩や、同級生等で漢方を熱心にやっている者に声をかけて、研究会を新しく立ち上げて頂くように働きかけています。全国の会員を初めとして理事の先生方も心ある方々に呼び掛けて、全国の都道府県に新しく漢方交流会の賛助漢方研究会を発足してゆく運動を起こして頂き、一日も早く本会の会員が 500 名を超える状態になり、組織力、体力をつけることが出来ますように御協力頂きたいと念願致します。

神戸大会の報告と様子

神戸大会、出席者からのお礼状を紹介

今回はありがとうございました。

大変に気持ち良い大会でありました。特に若い世代が生き生きと活動しており、次の時代を荷う人々に確実に課題は引き継がれていると感じました。こうゆう中で実質的な『頭』も生まれて来るでしょう。これが改革の時代なのかと思いました。



特別講演① (市民公開講座)

『サプリメントの上手な使い方』

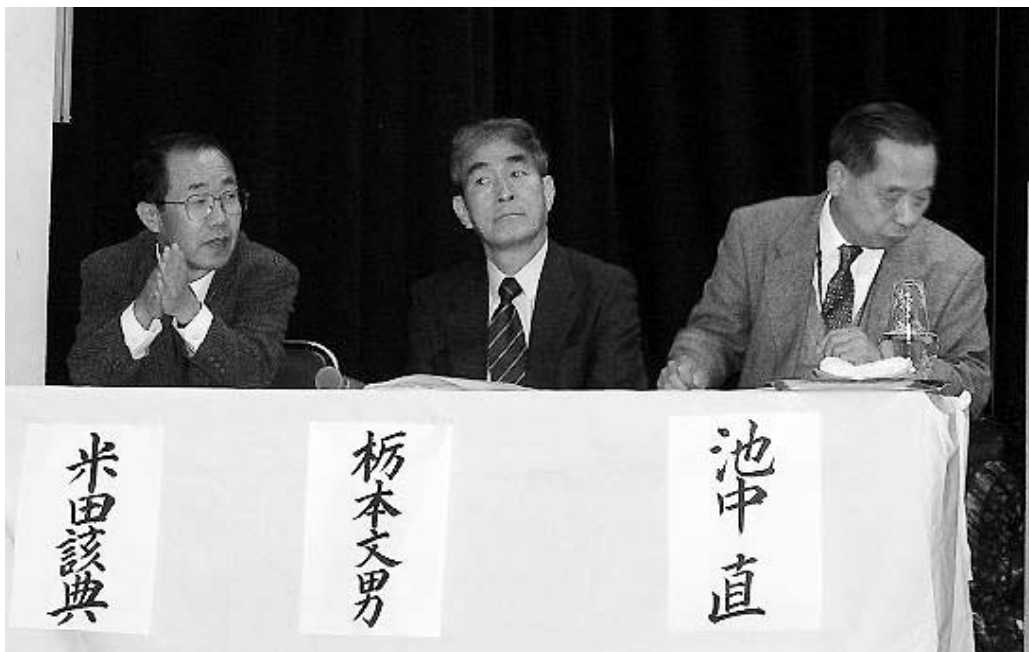
講師：大阪薬科大学教授・薬学博士

馬場きみ江先生

シンポジウム

テーマ：

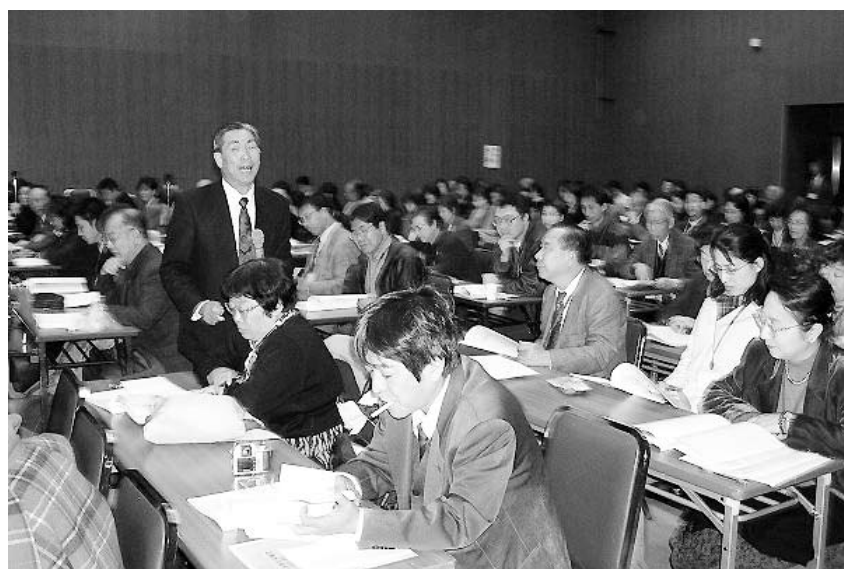
『白朮・蒼朮について』

①大阪大学・総合学術博物館
助教授 米田該典先生②(株) 栃本天海堂
専 務 栃本文男先生③池中商事(株)・池中薬局
池中 直先生

特別講演②

『関節リュウマチと漢方 附子と朮の考え方』

京都府立医科大学助教授 医学博士 三谷和男先生



公演中の竹本昌英先生と熱心に聴き入る会員↑

特別講演③

『交流分析による心理、性格判断』
(病人との対応うらおもて)リード大学院大学日本校学長代行
Ph.D 教育博・心理カウンセラー

竹本昌英先生

10:20 ~ 11:00 会員発表 2 題

- ①続・生活習慣病の病態生理と東洋医学的考察 日中医学研究会 (関西) 野町健先生、篠崎玲子、本田善久、渡辺武
②生活習慣病に対する東洋医学的考察 日中医学研究会 (関東) 堀茂子、石本真理子、落合富雄先生、川端耕平、渡辺武

13:30 ~ 14:00 会長講演

『今後の漢方薬剤師像を探る』

代行 理事長 真鍋立夫先生

14:00 ~ 16:00 会員発表 6 題

- ③安宮牛黄丸による風邪治療の新しい経験 東京漢方教育センター 石原タツ先生
④通導散の経験 東海漢方協議会 伊藤晴夫先生
⑤ネフローゼ症候群による五苓散処方の著効例 九州漢方研究会 加藤聡先生
⑥難聴・耳鳴りに通明利気湯を用いた経験 広島漢方研究会 勝谷英夫先生
⑦桂枝湯 2 例 大阪オースギ漢方薬局 幸地秀雄先生
⑧漢方薬の選択・食事指導が難しい 大阪・聖寿堂薬局 村上清尚先生



新しく顧問になられた先生方を紹介させていただきます

中田敬吾（医学博士） 1945 年生まれ

勤務先 医療法人聖光園細野診療所

1970 年：京都大学医学部卒業

1970 年：京都大学医学部附属病院内科にて研修開始

1971 年：医療法人聖光園細野診療所勤務

1972 年：京都大学医学部附属病院内科研修終了

1975 年：京都大学医学部大学院博士課程入学

1981 年：京都大学医学部博士課程卒業

「The role of prostaglandins in the guinea pig biliary system」で医学博士号取得

1984 年：医療法人聖光園細野診療所副院長就任

1984 年：日本東洋医学会評議員就任

1985 年：日本東洋医学会理事・関西支部代表理事就任（～1989 年）

1985 年：医療法人聖光園細野診療所理事就任

1985 年：第 4 回国際東洋医学会学術総会準備委員長

1990 年：第 42 回日本東洋医学会学術総会準備委員長

日本東洋医学会関西支部代表理事就任

（～1997 年）

1999 年：日本東洋医学会関西支部代表理事就任（～2001 年）

2000 年：第 51 回日本東洋医学会学術総会準備委員長

2003 年：医療法人聖光園細野診療所院長就任

現在 日本東洋医学会理事・評議員、和漢医薬学会評議員
著書

「漢方医学入門」（東山書房）

「KAMPO+ 大類方」（黄煌著）翻訳（メディカルユーコン）

「張仲景 50 味薬証論」（黄煌著）翻訳（メディカルユーコン）

細野八郎（医学博士） 昭和 5 年生まれ

勤務先 医療法人聖光園細野診療所

1956 年：京都府立医科大学卒業

1956～1957 年

：京都府立医科大学付属病院にて研修

1957 年：京都府立医科大学内科入局

沼津市立病院呼吸器科勤務

1958 年：医療法人聖光園細野診療所入局

1960 年：金沢大学第二病理学教室入局

1973 年：医療法人聖光園細野診療所副院長就任

1984 年：医療法人聖光園細野診療所院長就任

1984 年：日本東洋医学会評議員

1985 年：日本東洋医学会監事

第四回国際東洋医学会準備委員長

1990 年：日本東洋医学会副会長

2000 年：第 51 回日本東洋医学会学術総会会頭

2001 年：医療法人聖光園細野診療所理事長就任

2003 年：京都漢方研究会会長

現在：日本東洋医学会名誉会員

原 敬二郎（医学博士） 昭和 5 年生まれ

医療法人恵光会 原病院名誉理事長・名誉会員

原クリニック院長

日本東洋医学会名誉会員

和漢医薬学会評議員

福岡市内科医会監事

福岡市医師会裁定委員

福岡市南区内科医会監事

福岡大学薬学部非常勤講師

久留米大学医学部非常勤講師

島根大学医学部非常勤講師

大連中医学院名誉教授

1953 年：九州大学薬学部卒業（生薬学教室）

1960 年：鳥取大学医学部卒業

1967 年：医学博士号授与

1986 年：日本東洋医学会参事・評議員

1989 年：福岡大学薬学部非常勤講師

1995 年：日本東洋医学会理事

日本東洋医学会九州支部長

1996 年：久留米大学医学部講師

大連中医学院名誉教授

2000 年：日本東洋医学会名誉会員

著書

『四季の漢方』西日本新聞社版

『花粉症にはズバリ漢方療法』世界文化社版

『四季の薬草』正光印刷

『高齢者と女性のための漢方処方』梓書院版

『脳はよみがえる・ボケない脳』ぶんぶん書房 / ダイセイコー出版

矢数 圭堂（医学博士）

※略歴は省略いたします。

（財）日本東洋医学会名誉会員

温知堂 矢数医院院長

東亜医学協会理事長

▶▶ 広報担当からのお知らせ

●日本漢方交流会ホームページに会員専用のページを作成しております。パスワードは **kaiin** でお入りください。
とりあえず理事会の報告などをこのページでさせていただきます。

平成 15 年 12 月編集